

データ収集ソフト

WRS-VSS

概要

■ 遠隔地の計測データを通信費ゼロで収集可能

『データ収集ソフト』は、WVMシリーズとWTM-PE6シリーズの計測データをインターネット経由で遠隔収集するためのソフトウェア。既存のインターネット回線を使用するため、固定IPなどの通信コストがかからずにデータ収集が可能です。



コストを抑えて遠隔地のデータ収集を実現！

型式

WRS-VSS

Windows Server 2008 R2 SP1(64bit)追加

動作環境

対 応 O S	Windows XP Professional Windows Vista Ultimate SP1 Windows 7 Professional (32bit/64bit) Windows Server 2003 SP2 (32bit)
C P U	インテル® Core™ 2 Duoプロセッサ(1.8GHz)以上
メモ リ	1GB以上推奨
ハードディスク容量	インストール時、80GB以上の空き
ディスプレイ	XGA (1024 × 768) 以上
推奨ルーター	RT58i (YAMAHA 製)

基本機能

- インターネット経由でのデータ収集（計測データ、イベントデータ、通信ログ）
- 各種収集設定

仕様

管理拠点数	最大300拠点 (300ルータ)まで
WVM/WTM接続数	WVM：合計300台まで 1拠点当たり最大2台まで WTM：合計1134台まで 1拠点当たり最大5台まで
収集間隔	2パターンより選択可能 ・時刻指定収集 (1日1回、任意設定時間に収集) ・蓄積同期収集 (WVMまたはWTMの蓄積と同期したリアルタイム収集)

収集蓄積データについての記述は誤記のため削除ください。

イベント表示 本ソフトウェア上のイベント状態を最大1000件まで表示（プログラム起動、データ収集失敗など）

通信ログデータ保存 **7日間**分の通信ログデータを保存

システム構成

